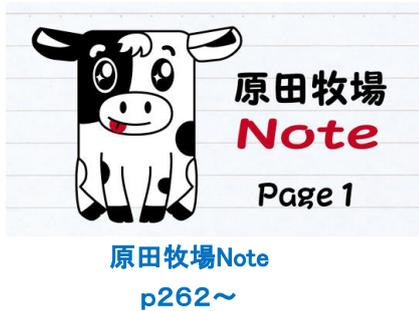


原田 希 新連載

牛さんは暑いより寒い方が得意。牧草地(畑)の手入れなどがお休みの2月は、朝晩の搾乳と分娩の面倒をみるくらい。

時々の吹雪をやり過ごせば、いちばんのんびりしている季節です。酪農作業は誰でもできる仕事ですが、牛さんと足並みを合わせてライフワークとして休みなく永続的に続けるのが酪農家。

このマガジンの連載も酪農家と同じスタンスでやれたらな、と思っています。



工藤 芳幸 新連載

今号から執筆させていただきます。大阪に転居してきて8年目。宮城県出身です。上京して大学を卒業後、「琵琶湖がある」ことぐらいしか知らなかった滋賀県で福祉施設に就職。その後、母校の大学院で学び、言語聴覚士(ST)として障害がある子

どもの療育や医療の現場で働きました。現在は大学の教員として ST を目指す学生たちと関わりつつ、児童発達支援施設の非常勤 ST をしています。

この冬、仕事の合間でどうにか人生 2 本目の修士論文を書き上げました。苦戦しました。思うようには書けません。博士後期課程で引き続き研究を継続するつもりです。よろしくお願いいたします。

みちくさ言語療法 (1)

p 264 ~

高名祐美

第 40 号が発刊される頃、私は 60 歳の誕生日を迎えています。還暦です。定年退職の節目でもあります。送別会にいくつか招待を受けていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大にですべて中止となりました。家族で計画していた還暦お祝いの宴も延期です。自分の人生の節目に、想像もしなかった事態がおきています。

また、昨年 12 月、夫の従弟が大阪市で孤独死していました。市営住宅で、親亡き後独居生活を送っていたのですが、新聞がたまっているということから発見につながったそうです。叔母を通じて、従弟の孤独死を知った夫は、そのお骨を引き取りに大阪へ向かいました。区役所の福祉課に問い合わせても要領をえず、その際親身になって対応してくれたのは、遺品処理の会社の担当者だったそうです。叔母に連絡があったのもその遺品処理の会社からでした。住居を整理するのに、遺品処理の許可をほしいとの連絡だったそうです。叔母は自分だけで判断できず、夫に相談してきたことで従弟の死がわかりました。孤独死が、自分の身近で起こるとはこれまた思いもしませんでした。

想像もしなかった事態が起きている中、3 回目の原稿を書きました。重篤な不治の病にかかることも、想像もしなかった事態です。「こんな病気になるとは思わなかった。なぜ自分が・・・」。想像もしていなかったことに出会い、日々の暮らしに影響を受ける。その思いを受けとめることが、ソーシャルワーク援助にどんな意味をもつか。バイステックの 7 原則「受容」を考えてみました。なかなか筆はすすみません。実践を振り返ることはやはり難しいと感じています。

MSWという仕事

P258 ~

大石仁美

朝ドラ、スカーレット

～やすらぎの刻～道へ

友人から陶器の美しい写真集を頂いた。開いて読み進むうちに 30 代の若さで夭折した女性陶芸家の生き様の記録集だった。大切に育ててきた自慢の娘を突然失ったご両親の嘆きはどんなだったろう。幼い頃から、陶芸家として独立するまでを、見守ってこられた年月を思うとき、言葉にならない悲しみを抱えてどうすればいいのか、せめて娘の作品を写真集として残し、多くの方に知ってもらおうと同時に、自分たちもこの大切な宝物を胸に抱いて生きていくことで乗り越えたい、そう思ったに違いない。

折しも、今放送されている朝ドラは、女性陶芸家の話である。二つが重なって、素朴で温かい器の質感と色彩に思わず涙した。

話の中に、釉薬を作るのにストーブの灰を使うというくだりがある。それで遠い昔を思い出した。

今から 40 年近くも昔、奈良、三重、滋賀に囲まれた京都府唯一の村で保健師として働いていた時のこと。すぐ隣が信楽という集落に一人の老婆を訪ねた。各戸を訪ねての健康相談も私の仕事の一つだった。奥から出てきた老婆を見て驚いた。小柄な体に、にこやかな目が皺で埋もれてしまうほど、皺だらけの顔だった。深く分厚い皺。それは童話に出てくる魔法使いのようで、しばし見とれてしまったのを覚えている。どうも来客がみえていたようで、なにやら袋を受け取り、お金を置いて帰っていた。

婆さんが言うに、「隣の信楽からおくどさんの灰を買いに来るんや。焼き物に使うそうや」私はびっくりした。灰が売れる！80%以上が森林のこの土地で、燃料の薪は山ほどある。けれど多くの家では近代化が進み、こんな山奥でも、台所で薪を使う家はほとんどなくなっていた。電気、ガスにお金を払う。婆さんはタダの薪を使い灰を売る。衝撃だった。心が震えた。帰り際に土間を見ると、立派なおくどさんがデーンと座っていた。それは黒光りして威厳が

あった。「やすらぎの刻～道」のドラマに一貫して流れている光景と同じだ。

私はこの二つのドラマの流れの中にしばし陶酔した。それは遠い世界、今やメルヘンだった。

病児保育奮闘記 p157～

岡田隆介

何かで読んだのだが、昭和の憧れは銀幕スターのような「手の届かなさ」、平成のそれは「会いに行ける身近さ」で、令和になって「自己肯定感・自分好き」系がそれにとってかわる勢いらしい。徐々に現実的になったのか、あるいは内向き傾向なのか。それはともかく、その記事から先日の研修会の最後に登壇した4人が思い浮かんだ。そのうち3人が口をそろえて「自分が大好き」と宣ったのだ。あの60代と70代の口の達者な年寄りも周回遅れか、それとも時代が追いついてきたか。ちなみに、その3人は東豊氏、団士郎氏、そして私だった…。

*

父娘のやりとり

私：今年も職場でバレンタイン・チョコもらってんけどな

娘：へえ、けっこう大事にされとるんやね

私：そうかなとは思ったんやけど、ビニール袋に入ってるん

娘：そりゃただのお土産やん。バレンタインは包装から凝るもん

私：ただな、きれいなメッセージカードが入ってるな

娘：メッセージ付きはバレンタインやわ。ビニールの包装は照れ隠しやね

私：そう思ってんけどな、よう見たらブルボンやっせん

娘：そりゃバレンタインやないよ。ブルボンは三時のオヤツやし

私：でもな、ブルボンを溶かして手作りしてんで

娘：手作りときたらバレンタインやなあ。手間は特別な人にしかかけへんもん

私：そやろ、感激してん。ただ、余った破片を寄せ集めた感があつてな

娘：破片のバレンタインはきいたことないわ。そりゃ“棄てるのは惜しいチョコ”と違う？ 義理チョコ以下の、間違いないと思う

私：やっぱりそう思うか…

エア絵本 -ビジュアル系子ども- 家族の理解と支援(4)- p39～

一宮 茂子

【新型コロナウイルス感染症(COVID-19)】

中国湖北省武漢市が発生源とされている新型コロナウイルス感染症。2019年12月ごろから次々感染して日本を含む30カ国に広がり、感染者76,018人、死亡者2,245人(2020.2.21現在 内閣官房HP)。このため人が集まる場所では「正しい手の洗い方」「正しいマスクの着用」「咳エチケット」のチラシ掲示がなんと多いこと。アルコール消毒液があちこちに設置され、北野天満宮の鳥居の下にまで(こんなところで使う人いる?)。



ウイルス対策には遮断率試験(PFE)の基準をクリアしたマスクがよいのだとか。しかし今年の1月末には薬局やスーパーのマスクが売り切れ状態。フィギアスケートの羽生結弦選手は何年も前からマスク姿が多かったのですが、彼は感染予防のために特殊なマスクをしているのかしら？ そういう私は光過敏症のため外出時にはPM2.5対応の不織布マスクをしています。

生体肝移植ドナーをめぐる物語 P237～

松岡 園子

昨年の秋からジャズダンスとヒップホップを習っています。中学生の頃からダンスが大好きでしたが習いに行くことができず、家でテレビ番組を録画したビデオテープを何回も巻き戻しては、動きをまねて楽しんでいました。

今のダンス教室は練習が楽しくて、12月には短い作品発表会にも出演しました。長年、ダンスをしてきた人たちのクラスの

ため、最初は体がついていきません。でも、次週にはできるようになっていたいとの思いから、家でも練習に熱が入ります。それを続けていると、先生から「練習の鬼」と言われるようになってしまいました。

現在、神戸で塾をしている教室の横に、ダンス用の部屋をつくる予定にしています。自分が楽しむためにダンスの先生に来ていただきたいなと思ったのがきっかけです。そうしていると、知人から健康体操の先生を紹介してもらうことになり、その部屋でシニア向けの筋力維持のための体操クラスを開講することになったりと、面白い流れになってくる予感……です。

統合失調症を患う母とともに 生きる子ども P226～

中條 與子

少し前、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のニュースで騒がしくなる前、twitterでこんなツイートに気がつくことができた。ある市長が、就職氷河期世代を対象とした市の正規職員採用試験を実施するという内容だった。対象年齢を見ると、私も含まれている。われわれの世代を「就職氷河期世代」と呼ばれていることに、とても違和感があった。氷河期ってなんだ、就職氷河期世代ってなんだ、とひとりで怒った。

友人や知人に「就職氷河期世代」という言葉を知っているかとたずねると、知人の方が多かった。むかし、「就職氷河期」という言葉があったと教えてくれた。記憶を遡ると、私が大学の頃、就職活動してもなかなか決まらないうちに「就職氷河期だから」という言葉が返ってきた。私もその言葉を理由に決まらないうちに、思い出すのに不思議と時間がかかった。

ネットで調べると、約一年前から「就職氷河期世代」を対象とした採用試験があること、労働局にも少ないけれど専用窓口があると知る。新聞にも時事記事として掲載されていた。有期雇用契約労働者の私としては、そんな情報を知らなかったことに焦りを感じた。契約期間の雇用満了が、そう遠くはないうちにくる。再びハローワー

クにお世話になる。

近くのハローワーク窓口に就職氷河期世代の求人の状況を知りたいと訊ねると、白杖を持つ私を見て、「障害者」と公表して働くかどうかを聞かれたので、公表する旨を伝えた。案内された障害者対象の専用窓口で、「就職氷河期世代」の求人についてお伺いした。そのハローワークは、来年度より、就職氷河期世代専用窓口が設けられるとのことだった。



来年度、「就職氷河期世代」専用窓口ができたとしても、「障害者」と両方の専用窓口を使うことはできず、一つしか選択できないようだ。私の場合は、障害者としての生きづらさを抱えているので、「障害者」専用窓口のほうが適していると助言をいただいた。専用窓口は、17時15分で閉まる。土曜日も窓口が開いているので、土曜日も相談できるかどうか訊ねると、専用窓口に関しての相談は難しいとの事だった。働きながら相談するためには、仕事を休む必要がありそうだ。

幸いに、私の雇用期間満了は少し先なので、興味を持ってしまった「就職氷河期世代」の専用窓口にも、時間を見つけて足を運びたいと思う。「就職氷河期世代」と「障害者雇用」と併せた求人はあるのかどうかも気になるところだ。

「盲ろう者」として自分らしく生きる)

P252~

杉江 太朗

年末に、滋賀県高島市マキノ町に行った。対人援助学マガジンの合宿である。遠くから参加される方もいたが、私はまだ近いところに住んでいた方である。対人援助学マガジンは拝読したけれど、顔は知らないという方と出会い、繋がる良い体験になった。この仕事は人との繋がりが財産である。自身の力は些細ではあるが、

それぞれの知恵が集まることで、大きな力となる。私自身、この仕事をして人と繋がることで、「わからないこと」を「わからないから教えて」と言えるようになった。これは自分には「わからないこと」がたくさんあり、それを知らないことが恥ずかしいことではないと認識するようになったからである。一方で、自分の専門の分野については、それなりに聞かれたことには答えられると自負しているし、答えられるように努力をしている。わからないことをわからないと言えるようになって生きやすくなった。世の中には知らないことがたくさん。それぞれの分野の専門家に触れることは本当に楽しい。対人援助学マガジンの利点である。

「余地」-相談業務を楽しむ方法-

P222~

迫 共

地元の保育園で園児さんが保育中に亡くなる事故がありました。かつて所属していた園長会で何度かお会いした、顔見知りの園長さんの園です。「ああ、あそこで…」としばし呆然としてしまいました。

保育をはじめ、対人援助の仕事には事故やトラブルがつきものです。ゼロにしたくても起こってしまうのが事故やトラブルです。そして、自分ではできないことが多い方を対象にしていると、小さなミスが生命の危機に直結してしまいます。

卒園・卒業の時期でもあります。大過なく巣立ちの時を迎える人たちを見ると、心から安堵します。さらに次のステージでの無事を祈る心持ちになります。

保育と社会福祉を漫画で学ぶ

P219~

朴 希沙(Kisa Paku)

今回も、また3ヶ月に1回の執筆がやってきました。それにしてもこの頻度は、私にとっては丁度いい。期間があきすぎもせず、またつまりすぎてもいないので、丁度いい緊張感を保つことができます。

締め切り近くになると、「今回は何を書こう?」と悩みますが、いざパソコンの前に座って唸っていると、最後にはきちんと文章が出てきます。今回は特に納得のいくものが書けました。やはりなんでもやっつけ仕事ではなく、丁寧に時間をかけて

やるのが大切ですね、改めて感じました。ぜひ読んでいただけると嬉しいです。

マイクロアグレッションと私たち

P215~

浅田 英輔

令和2年の冬は、雪が少ない。生活する分にはとても助かるのだが、結構よくない影響もあるようだ。

- ・除雪による稼ぎがない。土建屋さんは、冬季は除雪が稼ぎになる。大きいところでは億単位で収入が減っているとのこと。
- ・スキー場がヤバい。当然、収入にならない。
- ・ガソリンスタンドがヤバい。除雪車の燃費はハンパないらしい。
- ・ホームセンターがヤバい。冬に売れるはずの除雪道具が売れないらしい。
- ・物流がヤバい。そういう冬の道具を運ぶ仕事がないらしい。
- ・青森県民がヤバい。雪が降ると「もうやめでけーじゃー」と文句を言うくせに、「全然ないときみしいな」とかほざいたりする。
- ・浅田のクルマがヤバい。雪が降った日は少ないのに、ピンポイントで滑って事故ったりする。初めて「バッテリーあがり」も体験する。なんで今年に限って??

臨床のきれはし

P126~

三浦 恵子

この号が出る頃には9回目の3.11が巡ってくる。25年前の阪神淡路大震災の時は専門職となって1年目だった。甚大な被害を出した地域を担当していた。自分にもっとスキルや経験があればと何度思ったか知れない。

3.11当時は東京に単身赴任中だったが、家族の介護の関係で震災の週の最初から短期介護休暇を取得し、仙台で過ごしていた。ただ、年度末でもあり、家庭の状況がある程度落ち着いたのを見極めて、震災前日から新幹線通勤で職場復帰した。3月5日から導入された「はやぶさ」で東京~仙台間を90分で移動できるようになったことが背中を押した。

3.11当日、勤務先で配偶者の本家があるエリアを津波が飲み込んでいく映像を

茫然としながら見ていた自分がいた。私も、仙台で同じ仕事をしている配偶者も、やるべき業務は山積していた。阪神淡路大震災のような大都市直下型地震とは異なる
広域災害ではあったが、大規模災害発生時の初動の大切さは骨身に刻んでいた。まずは自分が置かれている状況でなすべきことをすべきだと考えた。多くのことがあったが、たくさんの方々に支えられて今があると感じている。

更生保護官署職員

(認定社会福祉士・認定精神保健福祉士)

現代社会を『関係性』という

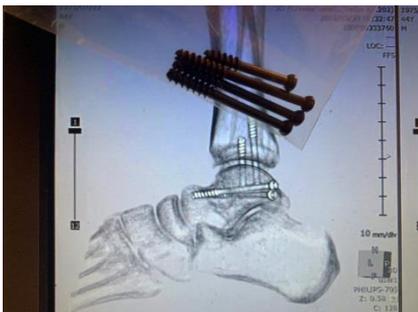
観点から考える

P210~

山口洋典

新型肺炎の世界的な発症により、各地で多くの混乱が招かれた2020年の冬、2018年10月にふとしたことで骨折したことで左足首に入れていた4本のスクリューを取り出す手術を経験しました。人生2度目の全身麻酔による手術でした。私が専門とする社会心理学でも規範や身体といった日常用語を専門用語として用いるために、時折会話が混乱することがあるものの、この1年あまり、整形外科医が用いてきた「壊死」という言葉が、私の抱いていた印象(最早、再生しないということ)とは異なるもの(血管を通じて繊維性の骨をつくっていき、徐々に層板骨へと置換されていく過程の初期状態)だと、今さらながら知った次第です。

転じて、木曜日の終業時間に近いところで内閣総理大臣がウィルスによる感染予防に関わる指示ならぬ要請を発表し、土曜日の夜の記者会見を行ってもなお市中から紙製品が消える状態が続くという、緊急時の言葉のすれ違いを現在進行形で体感している気がしています。



(写真、骨折から1年の際のCTスキャンの画

像と抜いた4本のチタン製スクリュー)

PBLの風と土

P197~

関谷 啓子

着物が好きだ。新しい着物でなく古着屋の着物が良い。

仕事を辞めてしばらくは毎日着物で過ごした。古着なので当然サイズが合わない。丈直しなどを専門の方をお願いしたのではキリがないので今度は和裁を習いに行った。週に一回、一日中チクチクと針を動かす時間が楽しかった。驚いたのは若い女の人たちが(時々若い男の人も)プロを目指して修行をしていることであった。

ワンフロアを区切って、それぞれが自分の縫い物に励んだが、修行中の人たちのコーナーからは物音一つせず時々コテを温めている匂いが立ってきた。私たち(ミセスグループと呼ばれていた)はひっきりなしに先生を呼ぶ声が絶えず、間には昨夜のおかずの話やら身体の不調の自慢話？が絶えなかった。

ある時、ふっと静かな時間があつた。町家の二階の教室は暖かいけれどシーンとして気持ち良かった。

通りを歩く下駄の音が聞こえる。下駄を履いた男の人が近づいてくる。着物を着ているのかなあ。この季節ならばお付いの羽織を着ているのかな？それともトンビ？と思いつつ針を動かしていると教室も前を通り過ぎて行った。

単衣縫う町家の二階に下駄の音おとこの歩幅で近づきて去る

しばらくして、一人が「今、男の人が通らあったなあ。」と誰もなしに呟いた。

そんなことがあつたのを今朝、目覚めてフツと思出した。

古い羽織をリフォームしようと解いていたら、襟の部分から綺麗に折り畳まれた昔のお金が出てきた事も。

記憶って不思議。昔の記憶が泡みたいに浮かんでくることがあるのだなあ。

私の出会った人々

P188~

黒田 長宏

5000円くらいのものだが、足湯器とい

うのか、フットバスというのか、そういう代物を購入し、休日の午前中にちょっと浸かっている。

結婚できないストレスからか、低体温になってしまっていて、ショウガ入りの飴なども使用しているのだが、日向ぼっこや風呂だと上がるようだ。かなり体温計を使用している。例のフットバスだが、泡が出て、保温機能もあるが、それがなければバケツと同じ気もするが、保温機能が若干パワーが要るので、大きいほうの太陽光パネルから蓄電できるリチウムイオン電池で稼働させると蓄電池のメモリが急激に下がっていく。効果はどうあれ、気持ち良いことは気持ち良いので、勤務先は病院なので仕方ないが、インフルエンザや新型コロナウイルスなどの怖さもあり、なかなかスーパー銭湯もおっくうになり、足だけ自宅で温めるので十分に気持ちがなってきた。年齢のせいだろうか。なかなかパートナーが見つけれないからだろうか。ここ数年私は慢性疲労状態である。

松岡修造や織田裕二や江口洋介や沢村一樹や坂上忍は同い年なのに疲れているように見えないのが不思議だ。いまだに現役のサッカーの三浦カズなどは学年が一つ上だったりするが。坂上は若干加齢を言っていたのを聞いたことはあつたか。同い年の著名人たちも変な人が多いなという気はする。

<https://konnankyuujojtai.jimdofree.com/>

ああ結婚

P195~

山下桂永子

教育現場(またはそれに近いところ)で働く身としては、この数日(2020年2月末)は激動の日々です。今このタイミングで小中学校幼稚園が閉鎖になるというのは、どうということなのか。

思えば9年前の3月末に、私は宮城県の小学校にいました。小学校は避難所になっていて、卒業式に出られなかった子や進学先の高校が津波で流されてしまった子など学校に通えなくなった子どもたちがたくさんいました。状況は全く違えど、地域の学校の機能が失われるということはどういうことなのか。驚くことばかりだったように思います。

この3月は、驚くことばかりの中、9年前とたぶん同じように、今、対人援助職として自分にできることは何なのかということを開いていく日々になりそうです。

内容とは直接関連しませんが、読んでいただければ幸いです。

町家宿 in 京都 p179~

尾上明代

依存症サポート施設で、来月の大きなイベントのために、利用者さんたちと創作ドラマに取り組んで来た。AAで採用している「12のステップ」を皆の体験をもとにドラマ化し、200人以上の観客に見せるため、いつものセラピーセッションとは違うモードで練習をしていた。ところが、新型コロナウイルスの影響で中止になったという連絡が来た。最近の状況では想定内であったが、やはり残念である。一生懸命に練習に励んできた方々には、決して無駄ではなかったことをスタッフから伝えてもらった。安心できるグループ内で演じることには、多くの効用があるが、そのドラマを多くの観客に舞台上で見せるための練習には、別の良い効果がたくさんあった。大きな声ではっきり伝わるように話す、繰り返し演じる中で12のステップの内容をかみしめる、自分たちの実体験をこれから挑戦する人たちに役立ててもらいたい思いを新たに、などである。ここまで頑張ってくれた参加者とスタッフに感謝しつつ、状況が早く落ち着いてそのイベントが開催される日があるように願っている。

高齢者とのドラマセラピー p84~

松村奈奈子

新型コロナウイルスの影響で、2月の京都の街は少し静か。先日乗ったタクシーの運転手さんは「観光バスが減って、5年前の京都やな一」なんて言います。確かに、渋滞は減って、急に乱立したホテルは空室だらけ。

そんな中、旦那のたつてのリクエストで乳頭温泉郷めぐりに。暖冬ですが、さすが豪雪地帯、2月には2メートルをはるかに超す雪が積もっていました。雪を眺めながらの温泉。うーん、よかったです。名湯「鶴の湯」では混浴露天風呂にも挑戦し

やいました。そんな秋田の秘境ではありませんが、温泉は外国人も含めて人でいっぱい。ホテルの人は「平日を含めて満室が続いています」と言います。やるな一秘湯。観光地のあり方をしみじみ考えてしまいました。

精神科医の思うこと P166~

鵜野祐介

今回は瀬尾さんの著書の紹介です。難しい言葉を使わないで奥深い内容を見事に表現した若きアーティストに脱帽です。ぜひ本書を手にとってお読みください。



うたとかたりの対人援助学 P190~

柳 たかを

我が映画の楽しみ方

僕はヒトコママンガ家である。そもそも世の中の人にはマンガ家はストーリーマンガ(コミック作家)を描く人という認識の人が多いのではないだろうか。

数年前まで私立の某芸大でマンガコースの教員を10年間ほど勤めたが、私を招聘してくれた教授に言われたのは、「学生にヒトコママンガを教える必要ない」だった。

日本のマンガ発展史を振り返ると、戦後手塚治虫(1989年没)という大天才マンガ家が登場して以降、キャラクター重視の映画のような長編マンガがマンガ文化の主流になったが、手塚登場以前は、印刷機械のハード的な限界とコストの問題もあってせいぜい数ページの物語マンガに限定されていた。

そのころ社会的に認知されていたのは、朝日や読売など主流紙に掲載される風刺マンガ家でそれはヒトコママンガか4コママンガのようなコママンガを得意とする人たちだった。

僕がマンガに興味を持ったのは、父親が画家だったのと子供の時に近所に貸本マンガ屋があり、月刊誌の子供向けマンガが矢継ぎ早に創刊された時期だったことと無縁ではない。そうした洪水のように出版されるマンガ達の中でひととき輝いていたのが手塚マンガだった。

手塚マンガの特長は、ヒゲオヤジやランプといった主人公とからむ個性的なキャラクターシステムを構築したことで、他の手塚作品にも有名映画スターのように繰り返し登場させたところだ。そんな映画のようなキャラクター重視のマンガに親しんだせいか、僕の映画観賞の比重は、作品の登場人物の気持ちに入りこめるかどうか大事なポイントになっている。

最近のアカデミー賞受賞作「パラサイト・半地下生活の家族」、作品の後半で金持ち家族が休暇旅行を突然中止し帰宅する。車中から婦人が電話で「帰るまでに私のためにジャージャー麺を作っておいて」と命令する。観てる観客席の僕まで焦る場面だが、ニセ家政婦のパラサイト主婦は一言「わかりました、ところで奥様あと何分ぐらいで到着なさいますか?」「うーん 8分かな」

この時、「ジャージャー麺? 名前は聞いたことあるけど食べた記憶がないなあ」という疑問符が目の前に湧いた。映画を見終わったあととどンドンジャージャー麺が気になりました。

帰宅後、レシピを参考にとりあえず「ような麺」を作成して試食、しかし映画で見て感じた「味・匂い」とはまったく違うと思った。

東成区の昭和 思い出ほろほろメモ P172~

齋藤 清二

私事になりますが、今年の3月いっぱいをもって、立命館大学総合心理学部特別招聘教授を退職致します。といっても、大学側のご配慮をいただき、4月以降も、客員教員として総合心理学部と人間科学研究科での講義を担当します。ちょうど 5

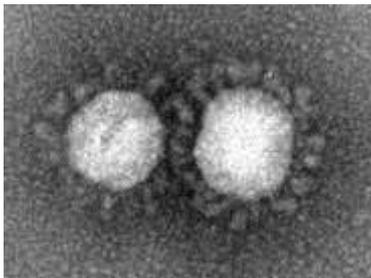
年前に応用人間科学研究科に赴任以来、総合心理学部の開講、人間科学研究科の創設にお付き合いすることができ、学部、大学院ともに第1期生の卒業を迎えることができ、ひとつの大きな節目だと感じています。残念ながら、新型コロナウイルス感染症の勃発で、卒業式も謝恩会も中止ということになりましたが、これからも人生は続いていくということで、前向きにとらえたいと思っています。

「あ！萌え」の構造
p162～

小林茂

前回のときは、締め切り日前後にインフルエンザにかかり期日に間に合わない事態となった。発熱と咳きで身動きが取れなかったこともあったが、熱が下がったあとも職場への出入りが禁止となり、強制的に原稿が仕上げられない状況になった。借りているマンションのなか「なんとかしたい」という気持ちでいっぱいであった。おまけに職場に復帰後は、1週間分の休講の事後処理に追われしんどかった。締め切り日より早く仕上げて不測の事態にも対処できるようにしたい。しかし、時間の余裕がない。どうも、大学の教員といっても学科によって、こんなに時間に余裕がないのかと気づかされた。

新型コロナウイルスの話題、アメリカのインフルエンザの死者数の増大(こちらは例年のようであるが)の話題と、やはり病はなんとも恐ろしい。



<温泉紹介>

☆上砂川岳温泉パンケの湯(北海道空知郡上砂川町字西山 43 番 4)

建物から 2 km 奥へ進んだ山の中から流れ出る源泉は、豊かな自然の中で年月をかけて力を蓄え癒しと活力を与えてくれます。「美人の湯」と言われる自慢の湯だそうです。

料金:大人500円(中学生以上)

温泉質:ナトリウム一炭酸水素塩冷鉱泉

(中性低張性冷鉱泉)

泉温 加温あり・加水なし

浴用適応症:神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、冷え性、疲労回復、慢性消化器病痔疾、病後回復期、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病

営業:平日:午前 10 時～午後 10 時

(最終入館 午後 9 時 30 分)

土日祝日:午前 9 時～午後 10 時

(最終入館 午後 9 時 30 分)

対人支援 点描
P159～

中島弘美

阪神淡路大震災から25年が経過しました。東日本大震災のことは知っていても、兵庫県で大きな地震があったことを知らない人が多くいます。時間の経過とともに、今後その数が増加すると感じると、ますます知ってほしいという思いが大きくなりました。

そこで「ご両親やおじいさんおばあさん、親戚の人などに地震があった1月17日、どうだった？」と、若い人たちから尋ねてほしい、そのとき生まれていなかったあなたたちのほうから話を聞かせてと声をかけてほしいと、話しました。

すると、後日、うちの家では・・・だった、両親は・・・と、学生さんたちから震災エピソードが届きました。

当日何があったのか、そのあとどうなったのか、「身の回りにある阪神淡路大震災ものがたり」は、家族が受け継いでいく大切な歴史のひとつだと思います。

カウンセリングのお作法
P33～

団遊

仕事で、とある家族が家を建てていく様子を追っている。土地探しから始めて、依頼する設計事務所や工務店を決め、打ち合わせを重ね、着工式、地鎮祭を経て20年2月に上棟式を行った。大きな家ではないが、その分ご主人と奥さんの思いやこだわりが、細かい箇所にまで反映された図面になった。ぼくも立ち会った上棟式。カットされたヒノキ材を、数多くの大工たちがまるでプラモデルかのように組み上げ

ていく。建築の現場では、今も「いろはにほへと」で合番を振るのが通例。2時間もすれば、何もなかった更地に骨組みだけだが、二階建ての家が建った。「これが大黒柱です」などと職人から説明を受けるご主人は、早くも満足そうであった。ぼくは今、賃貸住まいで、家を建てるつもりがない。それなりに考えがあつてそうしているのだが、この家が建つ頃には、その信念が揺らいでいるのではないかと、ちょっと心配になるくらい、家づくりは興味深い。

**人を育てる会社の社長が、
今考えていること**
P30～

村本邦子

コロナウイルス騒動のなか、オーストラリアに来ている。カンタスに乗る際、2週間以内の中国渡航やダイヤモンドプリンセスに乗っていないか確認され、パスポートの中もチェックされたが、その後は、まったくスムーズだった。こちらでも、新聞やテレビで報じられ、ホテルでも、コロナウイルスに関する最新情報や注意事項を書いた紙をもらった。街中でマスク姿の人は皆無だが、タクシー運転手とは多少話す。オーストラリアは早い時期に中国からの飛行機を止めたので、中国人観光客の姿がすっかりなくなり、経済的には大打撃だそう。ここにいると直接的な影響は薄いですが、ネットを通じて日々入ってくるメールやSNSに気が重くなってくる。楽しみにしていた催しも中止、少人数だから決行するつもりでいた院生たちとの合宿も取りやめるようメールがきた。もちろん、みんなの健康あつてのことなのでやむを得ない。人類の歴史において、災害同様、疫病も繰り返されてきたものだ。科学の進歩って何なんだろうと思ってしまいが、どうしたって人類は地球というひとつの船に乗っている運命共同体なのだ。いや、むしろ、科学技術の進歩とともに、その傾向は加速したと言える。経済優先の弱点も顕わになった。さまざまな背景を持つさまざまな国のさまざまな人々が思いやりいたわりあつて生きていくことを考えるようシフトすべき時だろう。

周辺からの記憶 一東日本大震災

國友万裕

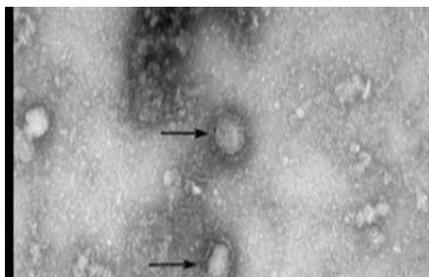
韓国映画『パラサイト 半地下の家族』がアカデミー賞受賞を受賞しました。英語以外の映画では史上初の快挙だそうです。この受賞にケチをつけるわけではないのですが、史上初と言われてしまうこと(?)と思ってしまう。他にも傑作はたくさんありましたから。で、映画好きの友人にそのことを話したところ、今年のアカデミー賞は候補者が白人に偏り過ぎだったため、その調整の意味もあって韓国映画に作品賞がいったのだらうとのことでした。なるほど。この頃は多様性を重んじていることがうかがえます。

日本でも、ここ数年で急速にLGBTへの理解は深まっているように思えますし、発達障害や学習障害の人への配慮もされるようになってきました。伝統的な規範に個人をはめ込むのではなく、多様な個々の個性を認めるという流れになってきたように思います。しかし、そうは言っても、あまり世の中、居心地が良くなったと感じないのはなぜなのでしょう。僕はまだ勉強不足で、社会や政治の上層部のことがわからないのですが、なんとなく理不尽な空気を感じます。

僕は、学歴マイノリティで、女性恐怖症で、男性ジェンダーへの違和感、少年時代に受けた虐待体験のトラウマを抱いて生きていますが、そういう人への理解はまだまだ足りない。せめて、援助職の人ぐらいは理解しておいてもらわないと困るのだけど、まだまだ理解できる人は少ない。対人援助学会はカウンセラーの人が多から、こんなことを言うと失礼だけど、「誰でも理解できるような悩みだったらカウンセラーなんていないんだよ！ もっと勉強しろ！」と言いたくなるのがたびたびです。おそらく、規範に合わせることに困難を感じずに生きてきた人たちは、どうしても社会の枠に合わせられない人の苦悩がわかっていません。とりわけ、ジェンダーに関してはわからない人が大半です。真剣に悩んでいる人に対して、「そういうのが好きな人もいないじゃないですか」と返すのは一番してはいけないことです。不登校

の子に対して、「学校が好きな子もいないじゃないの」と言ったら、余計にその子を追い詰める。蕎麦アレルギーの人に対して、「蕎麦が好物な人もいないじゃないですか」と言って、無理矢理食べさせたら大変なことになります。

この原稿がアップされる頃には 56 歳。僕の人生もあと 20 年から 30 年だと思ふから、その間にこれまでの人生のわだか



新型コロナウイルス

国内4人目の感染者を確認

まりに決着をつけたいですけどね。まだ今のところ悶々としています。

この3月、友人がこれまでの下宿を引き払って実家に帰るので、要らなくなった家具を全てくれることになりました。僕の部屋は大きく模様替えされることになります。それに応じて、心も模様替えしたいです！春ですものね笑。

男は痛い！

P113～

古川秀明

オープンダイアログは家族療法との親和性が高いので、とてもスムーズに実施できます。対話と歌は似た所がありますね。シンフォニーでもなく、ハーモニーでもなく、ポリフォニーがいいですね。

講演会&ライブな日々

P132～

西川友理

京都西山短期大学で、保育士・幼稚園教諭の養成をしています。それから、支援者に向けた当事者研究会や勉強会を定期的に開催しています。

京都西山短期大学で保育士養成をしています。その他社会福祉士養成などにもちよつと携わらせていただいています。

この原稿の締め切りは2月25日。2月中旬～3月中旬頃までに、大小合わせて5つのイベントの事務局やら主催やらいっちょ噛みやらをしていて、こしばらく、それら

のイベントの新型コロナウイルス対策に奔走しています。

話し合いを通じて、色んな判断や確認、思い切りや勇気を出さないといけな経験させていただいている真っ最中です。その経験の中で、物事を判断する際に大事なのが、例えば「みんな中止してるから中止する」ではなく、「中止する必要があるから中止する」「実施する必要があるから実施する」「どの部分を実施して、何をあきらめる」というのを、イベントの個性や実施する内容の意味に照らし合わせてぎゅっと考え、そして関係者同士きちんと話し合いをする、という事だなあと今まさに実感しています。当たり前の事なのですが。

福祉系対人援助職養成の現場から

p68～

坂口伊都

また春がやってきます。我が家の娘もお陰様で第一志望に合格できて、一人暮らしをします。娘は一人暮らしをする気満々なのですが、いざ自分の部屋が決まると帰りはホームショック状態。早すぎるだろうと笑いながらも、同じような気持ちになる母の私でした。我が家には犬2匹と猫2匹がいるので、あまり寂しさを感じなくても済んでいるように思います。でも、猫は娘を母猫だと思っているので、部屋の家具も減って娘がいないと探しまくります。そうするとモノを下に落としたり、布団に粗相をしたりするだろうと思います。その対応にしばらく追われそうです。

周りからも寂しくなるねえと言われますが、それよりもお金の方が頭痛いです。受験料に入学金、授業料、引っ越しと湯水のようにお金が消えていくとはこういう事を言うのですね。寂しさ通り越して恐ろしいです。

家族と家族幻想

P135～

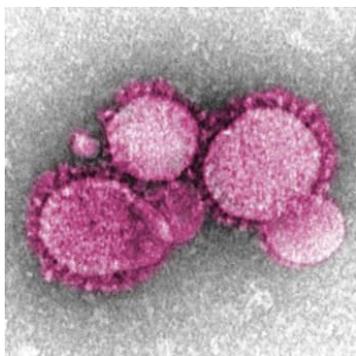
河岸由里子(臨床心理士)

北海道 かうんせりんぐらうむ かかし 主宰

【あ～コロナウィルス】今年は東京オリンピック。日本全体が年明けとともに、オリンピックに向けてあれこれ盛り上がってきたところで、コロナウィルスの問題が。一人また一人と北海道内でも感染者が増え

てくる。いつもインフルエンザが流行るきっかけとなる札幌雪祭り。結局そこで感染した方がいた。ニュースでコロナウイルスの話ばかりされるので、不安障害のクライアントから電話の嵐。「今日チカホ(札幌の地下道のこと)に行ったら、中国人とすれ違った。感染したのでは？」とか「咳が出る、コロナか？」「マスクがなくてあちこち探しまくったらしんどくなった。感染したんだらうか？」等々。突っ込みどころ満載の電話だが本人はいたって真面目。研修会の講師を頼まれていたのも、急遽中止になった。2月3月で頼まれている講演・研修の講師の仕事が11件あったがその一つ目が中止になった。これから幾つ中止になるやら。4月初めに参加を予定して受講料も振り込み済みの研修も、海外の講師の先生が来日を中止されたため中止になった。計画している研修会をどうするか？悩みどころ。

巷では、電車の中ではどこに座ればよいか、マスクの効果やアルコール消毒の効果とか、様々な情報が流れている。何が正しくて何が間違っているのか、正直わからない人が多いだろう。そんな中、中国人というだけでばい菌扱いといういじめも起こった。



そもそもどうして新型ウイルスが発生するのか？世界中にウイルスは三万種くらいあるとか。その内人間や哺乳類に感染するものが約650種。しかも一種に幾つものタイプがあるそう。650種の中の一つとしてコロナウイルスがある。以前流行したSARSもコロナウイルスの一つという。なぜコロナなのかというと、球体の周りに太陽のコロナのような構造がくっついているからだそう。しかもコロナウイルスは変異しやすい。見えないウイルスと戦うのは難しい。予防と言っても見えないから予防できているのかもはっきりしない。一体いつまでこの騒ぎが続くのか？私自身は

余り罹る気がしないが、一日も早く落ち着いてほしい。

境界あれこれ

P76～

先人の知恵から

P183～

岡崎正明

実は2月の終わりから入院することになった。マガジンが出ている3月15日頃はまだ入院中である。別に大きな病気が見つかったとかではないが、長年の勤務疲労、経年劣化。時の流れのなせるワザで、徐々に体の無理がきかなくなってきたらしい。

私はあまり自分の体と対話するタイプではなく、風邪などでもギリギリまで不調に気付かずにバタン！と倒れるほうで、「子どもみたいだ」と叱られることがある。だが逆に少々のことは「気のせいだろ」「たまたまだら」と気に病まずに済ませることができ、精神衛生上は悪くない利点もある気がする(ただの負け惜しみ?)。

たださすがに40歳を過ぎ、「いい加減、おのれの体の声くらい聴きなさい」と言われた気がして、素直に「そうですね。私が聴かずに誰が聴くことですよね」と思うようになった。これは進歩なのか、一時のことか。まだ結果は分からないが、本文で登場するAさんからは「この入院が岡崎さんの人生のターニングポイントになるよ！」と言われているため、不安はありつつも7:3くらいで楽しみが勝っている(我ながら単純だ)。

役場の対人援助論

P122～

大谷多加志

昨年末に「対人援助学マガジン 執筆者と読者の会」に参加しました。巻末にまとめを掲載したため、ここでは詳しいことは省きますが、さまざまな地域と分野で活躍する参加者との交流を通して、対人援助学という領域に、まだまだ面白いことが待っていると感ずることができました。

そして、年末の段階では近い将来のこととして考えていたのですが、めぐり合わせによって今年度末に現職を退職することになりました。

生活の変化に対する不安を感じたり、

現職での経験のありがたさを改めて感じたりと、さまざまな思いが去来しています。退職というのは、そう頻繁にある機会ではないかと思うので、ひとまず今は揺れ動く気持ちを“生きてる”証と思って、味わってみます。

新版K式発達検査をめぐって

P129～

馬渡徳子

今年も、今のところ、積雪が二度しかない北陸らしくない冬が終わり、春を迎えようとしている。

積雪がある年は、起床時間が平均一時間半は、早まる生活で、出勤しても先ずは雪かきから始まり、帰宅しても、先ずは雪かきという生活であった。

今年、我が家は2回目の町会長で、もしも豪雪だと、負荷がかかるので、正直びくびくしていた。しかしながら、我が町会は、台風による水害と何度かの豪雪経験より、防災士の計画的継承と、青壮年部、女性部、育成委員、民生委員、福祉推進員等の日常的な活動交流が奏功しており、お互い様の関係をつなげてきた歴史があるので、有事には、心強い。こうした有形無形の社会関係資本を、可視化して、共有し、自分の住まう地域を改めて見直す機会となっていることからか、移住定住者が増えている。

さて、暖冬であること、リハビリを継続していることで、姿勢や諸動作を変えたことが奏功したのか、なんと、今年は4年ぶりにギックリ腰を予防できている。

「ラジオ体操」の効能と諸動作のエピデンスを、リハビリの先生より学び、面白いなと継続している。

一方で、このような地球環境の変化に対し、自分のできることを、一つ一つ行動していかないと、「雪のない北陸の晴天」を見上げながら思う。

馬渡の目

P170～

団士郎

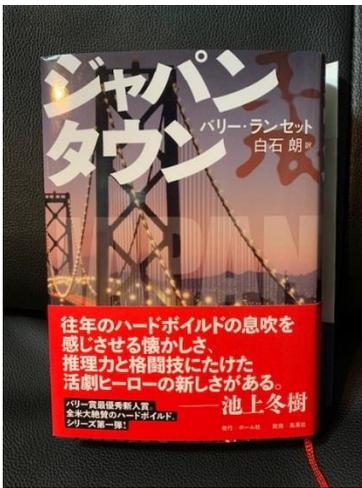
新型コロナウイルス騒動で、3月に予定されていたイベントやワークショップが次々中止になった。その結果、スケジュー

ル表は真っ白になってしまった。

その効果？はてきめんで、雑誌連載漫画の制作も、春のぼむ漫画展と2020年度の東日本家族応援プロジェクト用のパネル用カラー版制作も、この対人援助学マガジン編集作業も、実に順調に捗ってくれた。

日常がいかにかいたスケジュールで作業しているかが分かった。でも、大仕事がどんどん片づいてしまうということがないと感じてしまうのはワーカホリックか。

そんなときに集中的に読書するので、これがまた楽しくすすんでしまう。いつもならためらうような500頁越えのハードボイルドに手を出したら、思いがけず面白かったりした。忍者もどきが登場するのだ。



「続・家族理解入門」
P49～

鶴谷 主一

3学期、僕の仕事に大きなウエイトを占めてくるのが画像処理と印刷業務です。毎月書いている園便りや業務に加えて増えてくるのです。働き方改革など知りません。

卒園、進級シーズンは、写真を撮って補正加工していろいろに使います。

- ・卒園文集の写真レイアウト
- ・卒園文集に貼る園児の顔写真シール
- ・卒園証書に貼る正装した個人写真の補正と発注
- ・文集に載せるいろんなページの作成(いろいろ10ページぐらい)
- ・進級写真の撮影と補正
- ・カードや製作物のパーツづくりやシール、カット

個人写真は昔より減って50人ちよいで

すが、1枚1枚補正するとなかなか終わりません。

先生たちは、カードを作ったり、110ページ以上もある文集の原稿を準備したり毎日せつせと分担してやっています。

僕は、PhotoshopとIllustratorという画像ソフトを長年使って、使えるようになってしまったために仕事が増えているのだと思います…嬉しいことなんだろうね。

原町幼稚園 <http://www.haramachi-ki.jp>

メール office@haramachi-ki.jp

インスタ haramachi.k

ツイッター haramachikinder

幼稚園の現場から

P59～

水野スウ

今号は、金沢で20年続き、私自身も参加している市民アクション、ピースウォーク金沢の歴史を、はじまりの2001年からふりかえって綴ってみました。

あらためて強く感じたのは、このピースウォークが単なる恒例の年中行事で、当たり前前に続いてきたのでは決してなくて、その一回一回が手づくりで、自主的に集まった実行委員メンバーがあーだこーだと多様な意見をもちより、その時々々の社会状況と連動しながら、政治を反映させながら、意志を持って続けてきたのだなあ、ということ。ささやかな活動であっても、平和が大事、と言いたい人が言いたい時に言えるよう、この受け皿をなくしちゃいけない。そんな思いで続けてきたような気がします。

金沢のピースウォークは毎年3月20日前後なので、今年も数ヶ月前からその準備がはじまっています。でもいま現在、新型コロナウイルスの影響で、その時期に行えるかどうかまだ見通せません。

検査の必要な人が検査を受けられず、生活の手当対策も何も決まらない先に、首相による突然の臨時休校要請で、社会は大混乱。新型コロナウイルスは、憲法に緊急事態条項を入れるための大きな実験台の1つになる、と言った元文科大臣がいたけれど、緊急事態条項の憲法明記は、すべての権力が内閣総理大臣に集中することを意味します。首相の言葉が、今なら要請、要望ですむことが、政令となり、

その政令に誰もが従わせられる可能性も出てくる。

だから、コロナ拡大を利用しての不安便乗型改憲なんて手口に安易に乗っちゃいけないよ、と声を大にして言いたい、今日の短信でした。

きもちは言葉をさがしている

P88～

荒木晃子

新居で迎えた初めてのお正月は、例年通り「手作りおせち」を客人に振る舞い賑やかに過ごした。

ところが、年末までに蓄積された疲れのためか、おせち作りに張り切りすぎたせいか(どちらも怪しい)、3が日が過ぎた頃から発熱し、仕事始めの前日、39度以上の高熱にて近くの病院を受診。即、インフルエンザの診断を受け外出禁止命令が出る。

1週間後の1月12日には「セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える全国大会2020(ドーンセンター大阪市)」実行委員会主催のシンポジウム https://queertaikai2020.wixsite.com/toppage/f2?fbclid=IwAR0iOimhfCNsiI6cR-3_sL8Dn0umkwLIRxS5PqQe0r-xYcZYEdtbk1D94o8

で講演することが決まっているのに、である。インフルエンザの薬と解熱剤、抗生物質を服薬、食事が喉を通らないため代わりに栄養ドリンクで補給し、2匹の愛犬の世話を頼み、一週間はとにかく休んだ。

結果、当日は(医師の条件付きではあるが)皆さんの力を借り、なんとか無事に役目を果たせたと思う。その反動か、その日の夜に(予想通り)再び倒れ、翌日の研究会は欠席、大切な報告ができずじまいだった。年明け早々、自分の年齢&体力を自覚しなければと肝に銘じる出来事に遭遇し、丁度いいのでそれを今年の目標とした。

また2月初旬、ヒアリング調査のため研究メンバーと出かけた台湾でも、5日間の最終日に再びダウン。調査打ち上げの美味しい台湾料理をいただけずじまいのていたらしく。まったく懲りない自分にあきれるばかりである。あれやこれやで忙しくもワ

クワクする日々を送りつつ、この短書を書いてます。

生殖医療と家族援助

p81~

浦田 雅夫

昨年末に叔母が急逝した。母の看病など本当にお世話になった方で、これから恩返しというところであったが。親族の中でひとりだけクリスチャンである叔母はクリスマスの日の夜にセレモニーをもらった。いろんなことがあった人生だったろうが、最後がクリスマスだなんて、叔母にとっては幸せなことではないだろうか。

社会的養護の新展開

P60~

千葉晃央

フリーエージェント宣言！！



約 24 年間勤めた社会福祉法人京都国際社会福祉協力を 2020 年 3 月末で退職します。京都市みぶ学園(就労継続支援B型)支援員、京都市横大路学園(就労継続支援B型)支援員、京都国際社会福祉センター(教務主任、研究員、講師他)、京都市みぶ身体障害者福祉会館 事務長、のぞみ相談支援センター(計画相談)管理者として、働きました。特に昨年度までは週 6 日以上勤務しましたので、実質は 25 年以上勤務で、体は丈夫です(笑)。

知的障害者福祉領域の京都市みぶ学園では、下請け作業をいただくための営業活動から、事業所の中心としての役割、大学生等の実習指導などを経験しました。

横大路学園では、廃プラスチック手選

別作業を行い、環境問題に挑み、安全衛生委員会創設などをはじめとする職場づくり、新規事業立ち上げも経験いたしました。

京都国際社会福祉センターでは、スイス研修のコーディネイト、雑誌『国際社会福祉情報』の編集、発刊、執筆、取材、行政ケースワーカーの養成研修の企画、運営、講師なども、たくさんの講師の先生のご協力をいただき、担当しました。

社会福祉士養成課程では教務主任として、ソーシャルワーク系の科目を中心に、実習施設さんとのコーディネイト、開拓を含む実習指導、障害者福祉、児童福祉、地域福祉他の科目も担当しました。養成課程の施設見学企画、入試、同窓会、学生支援、学生相談など、あらゆる経験もさせてもらいました。

これらと同時に 1999 年以降は家族療法を学び、家族療法に関する研修のスタッフと実際の家族面接の相談員としても、ケースを担当してきました。

今年度は計画相談で、障害者の方々の地域生活を支える役割を管理者として経験しました。

今後は、個人事業主(フリーランス)として、これまでの経験をもとに、新しいチャレンジをしていきます。2020 年 4 月以降は自由に動くことができます。空いていますので、また、さまざまお声がけください。

え、それって何してるの? と思ったかたは、ぜひごはんでも、お茶でも誘ってください。すぐ行きます(笑)。どこでも大丈夫です。

家族をテーマにした事例検討会、対人援助学会、対人援助学マガジンの活動、家族面接相談スタッフ等は、引き続き、継続いたします。

これまでお世話になった皆さま、本当にありがとうございます。おかげさまで、今に至ることができました。お一方お一方にお伝え出来なかったこと、何卒お許してください。そして、これまで以上に、よろしくお願ひ申し上げます。

家族支援と対人援助 **ちばっち**

chibachi@f2.dion.ne.jp

090-9277-5049

知的障害者の労働現場

P17~

中村 周平

2 月下旬、またかといわれるかもしれませんが、引っ越しをしました。今度の新天地は上京区です。今回の引っ越しで、ようやく腰を据えて生活の基盤を整えられるのではと思っております。新天地での近況も、これからお伝えさせていただこうと思います。

ノーサイド

P102~

見野 大介

春が近づき、展示会・イベントの予定が迫ってきました。が、コロナウイルスの影響で開催自体が危ぶまれており、開催されても集客が例年通り見込めるかも怪しいという現状。

はてさて、この先どうなることやら。

ハチドリ器

P4

中村正

2 月最後の週、シドニーとブリスベンへ社会的養育の視察にでかけた。日本財団の助成で立命館大学の人間科学研究所が展開する「社会的養育プロジェクト」講座に参加する児童福祉の現職の方々も 8 名程一緒だった。後半はブリスベンでアボリジニ社会における社会的養育をテーマにした。Keyassets という世界的に社会的養育サービスを展開する団体にお世話になった。里子の原家族は何らかの課題を抱えている。その原家族との関係をよくしていくこともフォスターリングソーシャルワーカーの仕事になっている様子に感銘を受けた。さらに先住民であるアボリジニは歴史的なトラウマを抱えている。世代を超えて課題が山積している。メンタルヘルス、貧困と差別、民族のアイデンティティ、混血化の進展、伝統的生活の維持等が課題である。そこには DV や虐待という普遍的な課題も内包されている。こうしたアボリジニ社会でも存在している養育の課題は歴史的なトラウマとしての侵略と差別の結果でもある。これらを調整しながら誰を養育里親にするのか、原家族の問題をいかにして解決しているのか、伝統といいつつも存在する暴力問題をどう解決していくのか等、フォスターリングソーシャルワーカー

の課題ではないものを抱えているが、社会的養育をとおしてみえてくることは多い。先住民出身のワーカーに話を聞いた。文字をもたない口話文化のアボリジニはもちろん英語を読み書きできる人も多いが、やはり思考は文化に根ざしている。口話文化なので、とにかく話がうまい。流ちょうという意味ではない。ナラティブの本来のカタチをみたような印象を受けた。分かったような気になる書き言葉は疎外でもあるのではないかと思ったくらい口話文化ナラティブのパワーだった。機会を改めてマガジンでも紹介していきたい。

臨床社会学の方法

P21~

三嶋あゆみ

10年前、差別主義者たちが京都朝鮮第一初級学校(小学校)を襲撃する事件が起き、これを機にヘイトクライム・ヘイトスピーチが社会問題化しました。

この事件については、裁判所による司法判断が出たものの、日本政府・自治体による高校無償化排除、補助金カット、昨年10月からの幼保無償化排除と、朝鮮学校の民族教育に対する差別は拡大しています。

そんな中で、日本人も一緒に取り組んでいる保健室づくりや、障害をもつ生徒を中心に学級づくりの努力は、学校の原点とは何かを問いかける力を持っています。関心のある方、ぜひ朝鮮学校に足を運んでください。

脇野 千恵

昨年12月末に、身近な人たちとキューバに旅しました。一度は行ってみたいと思っていた国です。日本から見ると随分遠くに感じますが、ヨーロッパやアフリカからは近いのだなという実感を持ちました。当たり前ですが…。

直行便はなくカナダでの乗換です。アメリカから色々な制裁を受けている国でもあるので、経済状況など、国としてはとても苦しい立場にあります。カリブ海にある共産主義の島国で、革命の国でもあります。教育費、医療費は無償。他にも行ってみてわかったことがたくさんありました。

カリブ海には、無数の島が点在し、今でもフランス領、オランダ領といった島国が

あります。キューバもちょっと昔までは、長いスペインの植民地時代が続いていました。その名残は街並みで見ることができます。ハマキ、砂糖の生産が盛んで、どこのレストランに行ってもサルサの音楽が流れています。



今、国は観光に力を入れていて、なるべくたくさんの外貨を得たいと努力しています。最近日本の旅行会社もキューバツアーを企画しているのをみかけますが、まだ日本人はほとんどいませんでした。

物不足が深刻なキューバですが、自国での頑張りを肌で感じる場面が色々ありました。

こころ日記「ぼちぼち」part II

P255~

竹中 尚文

田舎暮らしの楽しみの一つに薫製作りがある。少くらしい煙をだしても近所迷惑になりそうもない。それに、薫製の工程の中に、風乾といって網に入れて風にさらすことをする。これは、空気のきれいな田舎で冬にするのがとてもいい。そんなわけで、今回はベーコンの作り方を紹介する。

今回の料理はベーコン

【準備するもの】

豚バラ肉 300~700g、塩(豚バラ肉の5%)、砂糖(豚バラ肉の5%)、粗挽きコショウ(豚バラ肉の5%)、ニンニク少量(無くても良い)、お好みのハーブ少量(無くても良い)、月桂樹の葉 1~2枚(無くても良い)

【手順】

塩漬け(7~10日)

- ① 大きな塊を購入した場合は、適量にカット。豚バラ肉を流水で洗う。キッチンペーパーで水分を拭き取る
- ② 豚バラ肉が入るようなビニール袋に、5%の塩・砂糖・胡椒を混ぜ合わせて入れる。ニンニク等も一緒に入れる。
- ③ そのビニール袋に豚バラ肉を入れ

て、塩・砂糖・胡椒が肉にまんべんなく絡むようにする。袋からできるだけ空気を抜いて口を縛る。

- ④ 袋に入れたバラ肉を冷蔵庫でねかせる。毎日、上下をひっくり返す。塩分等が片側によらないようにするため。

塩抜き(1日)

- ⑤ 清潔な大きめの容器にたっぷりな水を入れる。バラ肉をビニール袋から取り出して、水に浸ける。たびたび水を替えながら、バラ肉の塩抜きをする。この作業は、バラ肉の表面に近い部分と中央部の塩分濃度を均一にするためである。塩分がどの程度抜けたかは、肉を部分的にカットしたものをラップに包んで電子レンジで加熱して味見をしてみる。感覚と想像力を使う作業である。
- ⑥ 塩抜きを終えた肉は、吸水シートで包んで、冷蔵庫で一晩ねかせる。吸水シートはいくつかの商品が販売されている。

風乾(3時間程度)

- ⑦ 干物用のネットがホームセンター等で販売されているので、そのネットに肉を入れて、風通しの良い日陰で乾かす。気温と湿度の低い日がおすすすめ。

燻製(2~3時間)

- ⑧ スモーカーに肉をつるして、燻製をする。私の場合、ウッドを入れずに、80度前後の温度で、約1時間。ウッドを入れて煙を上げて、70~80度で、2時間程、煙でいぶす。
- ⑨ スモーカーの火を止めて、燻製された豚肉を冷蔵庫で一晩ねかせたら、できあがり。
- スモーカーは、どのような物がいいかは一概にいえません。私は、1.2メートル程の高さの物と30センチほどの高さの物を使う。作る物とその量によって使い分ける。スモーカーの大きさによって、ウッドを使ったり、チップを使ったりしている。

今回のバックミュージックは「エリック・クラプトン」の「ワンダフル・トゥナイト」

この曲を聴くと、というよりこのギターの音を聴くと、エリック・クラプトンは最高のギタリストの一人だと思う。彼と同じ時代に生

きてきたことを幸せだと思う。

告知

拙著『七日参りのお話 一大切な人を送った人へ』を出版した自照社出版が、3月末で廃業することになりました。このマガジンの連載をまとめて、団編集長に表紙を描いてもらい世に出た本でしたが、3月末でなくなります。ある書店でこの本にポップを手書きしてくれていました。顔も知らない店員さんがこんなにしてくれていることに感動しました。本当にたくさんの人々のおかげでした。

『盆踊り漫遊』

P105～

乾 明紀

新型コロナウイルスで国中(もちろん中国や世界も)大変な状況ですね。

人間は未知のものに不安を感じやすく、「●●県で初の感染者」などのニュースを継続的に見せられれば、心理的不安は否応なしに高まります。

行事・イベントの自粛がドミノ式に広がり、トイレペーパーの買い占めなどのパニック現象も起きました。そして、極めつけは、政府が学校を一斉休校にしました。

2019年度のインフルエンザの患者数は1000万人以上ありますが、厚生労働省のHPの「新型インフルエンザに関するQ&A」には、「集会やスポーツ大会についての、一律の自粛要請は行われていません。

感染の広がりを考慮して開催を決定するとともに、病み上がりや体調不良気味、発熱症状のある方には参加や観戦を遠慮してもらうように徹底して呼びかける、人と人が近い距離で接触しないようにするなど、運営方法を検討してください」と書かれており、今回の対応がイレギュラーであることがわかります。

しかし、イベントをそこまで自粛する必要があるのか？ 休校までする必要はあるのか？とは言いだしにくい空気が国中を覆っている気がします。

こういう空気が社会にあるときこそ、より冷静に、より科学的に世の中を眺めてみたいものです。

周旋家日記

P108～

寺田 弘志

一番患者の多い病気をご存知ですか？ 積読(つんどく)になっていた中野信子「脳内麻薬」をやっと読み終わりました。麻薬に縁が無くてとつきにくかったのですが、依存症を理解するのに絶好の入門書です。

一番患者数が多い病気が依存症だそうです。国内で、喫煙依存症1300万人、アルコール依存症300万人。薬物、ギャンブル、ゲーム、恋愛、セックス、ポルノ、過食や拒食・・・他にもいろんな依存症があるので、恐ろしい数になります。依存症のメカニズムを知っておくと、対人援助の仕事をする際に役に立つこと間違いなしと思えました。

さて、本文にも書きましたが、この本によると、脳にある神経細胞は1000億個。しかも1個の神経細胞は1万個の神経細胞とシナプスでつながることができます。さらに、シナプスで放出・受容される神経伝達物質は100種類以上あるそうです。脳はどれだけ複雑な活動をしているのでしょうか。想像もつきません。

以前、心理療法の仕事に就いていたとき、「人の心がよくわかるんでしょ？」ときかれました。「心理学をやればやるほど、人の心はわからない、理屈どおりにはいかなないということがわかりました」と答えていました。

こんなに複雑な脳のことを、単純に理解したり、説明したりできるわけがありません。心に比べて、身体運動器官のパーツの数の少ないこと。骨・筋肉・関節など、それぞれ数百しかありません。

それでも体をいためるパターンは、ほとんど無限にあるといっても間違いではありませんし、まだまだ未解明のことがたくさんあります。構造も機能も良くわからないのに、人は脳を使い、体を使っています。脳も身体もブラックボックスです。今回の本文は、ブラックボックスをテーマに書きました。

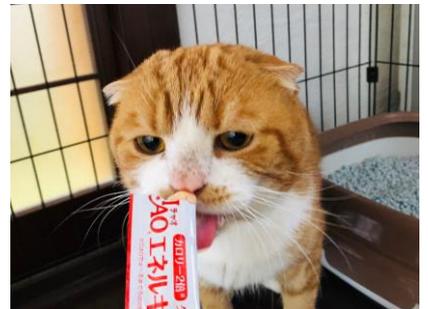
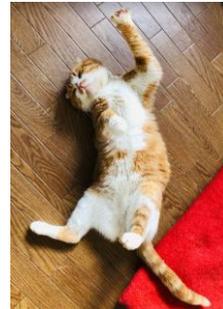
接骨院に心理学を入れてみた

P203～

小池英梨子

私の住んでいる町内のノラ猫に餌をあげてくれるおばちゃんの隣の人が引

つ越した。引っ越しから15日ほど経ってから大家さんが室内に入ると、1匹の猫が1枚の布団とともに置き去りにされていた。推定8歳くらいのオス猫。半月の間、どんな気持ちで家に1匹居続けたのだろうか。飼い主はどんな事情があって、長年連れ添った猫を置いて行ったのか。胸が引き裂かれる思いであってほしい。



保護した彼はすっかり元気になりました。とっても人懐っこいものの、たまに本気で噛んできます。そんな彼の里親に名乗りを上げてくれる猛者がいたら、連絡ください。

そうだ、猫に聞いてみよう

P281～